

みるみる距離が縮まる

思わず使いたくなる！

「保護者へのことばがけ」



ことばがけコンサルタント

岸本 元気



お話を
聞いてもらえない



連絡帳に
全く反応がない



厳しい
ご意見を頂く

「保護者とうまくいかない」 そのお悩み「ことばがけ」で解決できます！

●メッセージ

はじめまして。僕は「親と子のメンタルヘルス研究所」で「メンタル不調を抱えて子育てをしている保護者」の方向けの「認知行動療法」を行っています岸本 元気と申します。日々の「保育の現場」では、「保護者との関係がうまくいかない場面」はよく見られます。「話を聞いてもらえない」「全く反応がない」「感情的になって話が進められない」そんなとき、「自分は嫌われているんじゃないか」「なぜうまくいかないんだろうか」と悩んでしまったり、落ち込んでしまうこともきっとあるのではないのでしょうか？
でも安心してください。それは「ことばがけ」の順番を変えるだけでうまくいくのです。



今回、「保護者へのことばがけ」を【前編】ことばが入る基本公式【後編】気になる子への対応とその保護者の支援という2本に分けて、わかりやすくお話ししたいと思います。

■この研修で学べるもの

脳が「快」と感じる「ことばがけ」の順番

僕がいる「うつ病等で不調を抱える保護者」のサポートや「気になる子の支援」を行う現場では、「相手にことばが入る状態」をどれだけ早く作ることができるかが、支援がうまくいくかどうかを左右する重要なポイントになります。 そのためにできる限り多くの「ことばがけ」を行っています。

その際の重要なポイントが、「脳を快にすることばのかけ方」です。

「ことばがけ」の上手な先生。実は「同じこと」をやっています。

ことばが届きにくい先生	ことばが届きやすい先生
「ことばがけ」とは「何を」話すかだと考えている。 (話す内容)	「ことばがけ」とは「気持ちよく伝わる」話し方だと考えている。 (話す順番)

関係がうまくいかない時の「ことばがけ」のポイント

それは、脳が「快」だと感じる順番に変えること

です。

この研修では

「脳が快になる」ための「ことばがけの順番」をお話いたします。



岸本 元気 Genki Kishimoto

1967年3月生まれ（57歳）

保育ソーシャルワーカー（保育士・精神保健福祉士）

ことばがけコンサルタント

親と子のメンタルヘルス研究所所長 ・合同会社ソーシャルプラン代表



メンタル不調の保護者に特化した「認知行動療法」を行う専門職

メンタル不調（うつ病、パニック障害など）を持つ保護者の子育て支援に特化し、『メンタル不調時の子育て支援の専門家』として、九州だけでなく全国からの問合せも多く、常に50名以上のサポートを行なっている。また発達面で気になる点を持つ子どもたちの生活サポートも実施。生活場面で使える「子ども向けの認知行動療法」をわかりやすく保護者に伝え、子どもと保護者に寄り添う支援を行っている。保育者研修では、「ことばがけ」や「保育ソーシャルワーク」「学童保育研修」「気になる子の対応」などをテーマに全国で研修、講演活動を行なっている。リピート依頼が圧倒的に多く、年間研修120本の90%以上がリピートで、1年以上前からの事前予約も多い。

これまで、児童養護施設指導員、保育士、学童保育指導員、精神科ソーシャルワーカー、スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザーなど保育士としての活動だけでなく、医療現場、学校現場、企業内など幅広い分野で「メンタルヘルスの専門家」としての活動経験を持つ。

◎ 著書・連載

・チャイルド社「月間保育プラン」にて

『元気さんの親と子のこころをつなぐ 24の方法』連載（2003年）

・明治図書出版 若手保育者の指導力アップ1

『子どもがすくすく成長する 0・1・2歳児の魔法の言葉がけ』（明治図書出版）

・ベネッセ ひよこクラブ 2010年4月号

『やさしい心が育つにこにこ遊び始めよっつ』読み聞かせ・遊び指導

・ゆめのはこ 2011年6月号(25号)

『こんなとき、どうする？ママの話し方・聞き方、コミュニケーション術』

・明治図書出版

『子どものこころをグッとつかむ魔法のお話』（明治図書出版）

・風鳴舎

『保育士・幼稚園教諭のための保護者支援』 永野典詞・岸本元気

